平成２１年度　「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	企業の社会貢献活動としての「森と都市の交流プロジェクト」開発
対象地域	宮崎県・綾町
対象地域の概要	 綾の照葉樹林プロジェクトエリア 【照葉樹林の復元プロジェクト】 【綾の照葉樹林】
提案内容の概要	平成２０年度実施の交流実験事業をベースに、森林ボランティア活動を軸に地元集落における交流活動を組み合わせた交流プログラムを試行し継続性のある自立的な事業への展開方向性を探る。平成２１年度は、地元受け入れ体制の整備と交流プログラムの充実化、県内他地域への展開を念頭に、県施策との連携のあり方に重点を置く。
提案する活動の内容 （１）地域の課題	平成 20 年度に実施した実験的な交流事業から見えてきた課題は以下の諸点である。 【課題 1】綾町の自治公民館組織との協力関係をどう構築するか 【課題 2】対象となる企業ニーズをしぼりながら参加企業を如何に発掘するか 【課題 3】交流プログラムの事業性を如何に確保するか 【課題 4】宮崎県が平成 21 年度より取り組む（仮）カーボンオフセット認証制度との連携をどう図るか
（２）活動内容の案	活動①：　綾町の自治公民館組織との協力関係の構築 内容： 平成 20 年度に「新たな公」モデル事業に参加した地元の杢道地区からは、「交流を通じて地元の良さや、照葉樹林を保全することの大切さに気付かされた」との意見が出され、その後、「新たな公」の報告会とは別途に町内での報告会が開催され、綾町内の 30 の自治公民館組織への拡大等の意見も出された。 こうした動きをふまえ、今年度は、地元との交流事業において、杢道地区以外の自治公民館組織の役員の方々に参加いただき、照葉樹林の保全活動を手掛ける「てるはの森の会」と綾町の自治公民館組織との協力関係を構築し、交流内容を検討する。 そのため、地元交流プログラムの策定にあたって、自治公民館組織と調整しながら実施計画を策定する。また、事後評価を共同で行い、地元としての意義や継続可能なプログラムへの課題などを明らかにする。 活動②：（仮称）宮崎県カーボンオフセット認証制度との連携に関する方向性の検討 内容： 企業と森を結ぶ施策の一つとして宮崎県では平成 21 年度（仮称）カーボンオフセット認証制度の導入を計画している。企業と森と地元を結ぶ交流プログラムは、宮崎県の他の中山間地域においても適用可能なプログラムであり、組織的かつ継続的な協力関係を構築する意味で、当該制度が今回の交流プログラムとどのように連携可能か探る意味は大きい。 こういった観点から、今回、他県の先進事例の情報収集、宮崎県が検討している制度に関する情報収

	集などをふまえ、今回の交流プログラムと（仮称）カーボンオフセット認証制度との連携のあり方について検討整理したうえ、宮崎県関係課と協議し方向付けを図る。また、あわせて企業にとってＰＲ効果の高い参加しやすい仕組みづくりについても検討する。
	活動③ ： 試験的交流プログラムの実施
	内容 ： 森林再生プログラムと地元交流プログラムからなる、1泊2日または2泊3日の交流プログラムを策定し平成21年11月に実施する。 森林再生プログラムは、綾の照葉大吊橋と野尻方面をつなぐ林道及びその周辺の森の再生を内容としたもので、かねてより地元で実施が望まれている。今年度は、この事業を企業の参加も得て継続的に進めていくことの事業可能性を検証するため、試験事業として実施する。 地元交流プログラムは、杢道地区をはじめとして他の自治公民館組織の役員の方々の参加も得て、企画、実施、評価することにより、他地区への事業の拡大の可能性を検証する。
	活動④ ：継続可能なプログラムづくりの課題整理
	内容 ： 活動①～③までの結果をふまえ、継続可能なプログラムづくりの課題を整理する。
応募団体名	特定非営利活動法人木の家だいすきの会
リンク	ｈｔｔｐ：//ｗｗｗ.ｋｉｎｏｉｅ.ｏｒｇ/
部局／担当者名	東京事務所／鈴木俊治
連絡先	０３－５２６１－０９５１、ｓｈｕｎｊｉ＿ｓｕｚｕｋｉ@ｋｉｎｏｉｅ.ｏｒｇ
推薦市町村名	宮崎県綾町